

# 室蘭建設管理部

事業一覧および事業箇所図は室蘭建設管理部の社会資本整備に関する  
アカウントビリティのページにて公表します。（6月公表予定）  
<https://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/mkk/mur-dogen/account/index.html>



こちらのQRコード  
からアクセスできます。

## 室蘭建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

### 《概要》

室蘭建設管理部管内は、観光、水産業、農業などの多岐にわたる産業が発展し、市街化や企業立地が進むなか道央圏の物流拠点として、また、令和2年に、アイヌ文化の復興・発展のため民族共生象徴空間（ウポポイ）が開設、令和3年に、北黄金貝塚及び入江・高砂貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されるなど、歴史・文化の発信拠点の役割などを果たしており、道央圏の物流機能強化、地域住民や来訪者の利便性の向上などを図り、地域経済の発展に資する社会資本整備を進めています。

また、管内は、平成12年の有珠山噴火、平成26年、28年、29年と連続した豪雨災害、平成30年に震度7を記録した胆振東部地震など、甚大な自然災害を繰り返し経験した地域であり、過去に経験した甚大な自然災害を教訓とし、大規模災害時の代替性を確保するなど災害リスクを想定した交通ネットワークの形成、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で治水対策をおこなう流域治水、ハード・ソフト一体とした総合的な土砂災害対策などの取り組みや、管理施設の老朽化対策を計画的に行うなど、安全・安心な地域の実現に向けた社会資本整備を進めています。

道路事業では、有珠山噴火時の迂回路として、人流・物流を支える滝之町伊達線の整備、津波災害時の避難路として上向別浦河川停車場線、落石等の防災・減災対策として、北進平取線や大岸礼文停車場線の整備など、地域の多様なニーズに応える道路整備を推進します。

河川事業では、安平川で河道内調整地の新設、近年浸水被害が発生した真沼津川の河道整備など流域の特性に応じた治水対策、砂防事業では、土砂・洪水氾濫が発生したパンケヌシ川などでハード対策、有珠山噴火直後の降雨型泥流を防止・軽減する緊急ハード対策に備えブロック備蓄などを進め、海岸事業では、越波被害が著しい虎杖浜海岸で前浜の回復を図る侵食対策を推進し、また、漁港事業では、イタンキ漁港で港内静穏確保のための防波堤改良など、水産物の流通拠点の安全性を確保します。

# 滝之町伊達線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido, Expanding Horizons.

一般道道滝之町伊達線は壮瞥町滝之町を起点とし、伊達市松ヶ枝町の伊達ICに至る路線です。有珠山の2000年噴火では、国道37号などの洞爺湖周辺の道路が長期通行止になったことから、「有珠火山防災計画」を踏まえ、国道の代替ルートとして、両路線による有珠山噴火時に想定される火砕サージの影響を回避する新たなルートを整備する事業です。

## 《事業概要》

事業延長 : L=4.2km  
 事業期間 : 平成22年度～令和5年度(予定)  
 全体事業費 : 約35億円  
 事業内容 : 橋梁工3橋

## 《断面イメージ》



## 《位置図》



## 《写真:整備ルート》



# あびらがわ 安平川(下流工区) 大規模特定河川事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido, Expanding Horizons.

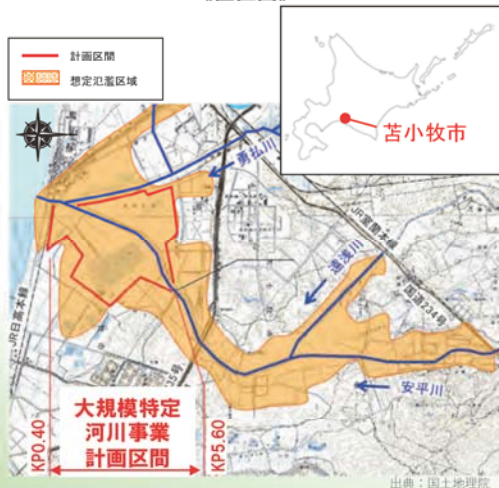
安平川は昭和22年4月及び昭和56年8月などの洪水により浸水被害が発生したため、昭和25年度より河川改修事業に着手し、本川・支川の一連区間で暫定的な河道掘削を行いました。

安平川下流は草原や湿地などの多様な環境から構成されており、依然として流下能力が低い状況にあることから、湿地環境等の保全に配慮した「河道内調整地」を計画し、令和3年度から当該事業に着手することで集中的な整備を行い、早期に安平川下流域の浸水被害防止・軽減に努めます。

## 《事業概要》

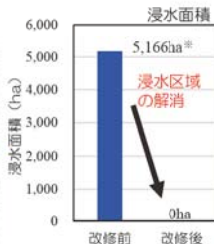
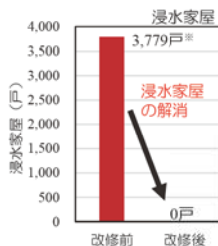
事業延長 : L=5.6km  
 事業期間 : 令和3年度～令和13年度(予定)  
 全体事業費 : 約100億円  
 事業内容 : 河道内調整地など

## 《位置図》

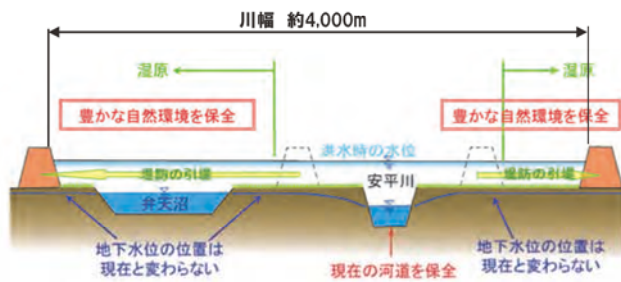


## 《事業効果》

計画規模の洪水が発生した場合、下記の事業効果が見込まれる。



## 《標準断面図(河道内調整地)》



## 《写真:周囲堤整備箇所の現況》



## 《写真:周囲堤の施工状況》





# しんめつがわ 真沼津川 大規模特定河川事業・総合流域防災事業

その先の、道へ。北海道



室蘭建設管理部

河川事業

Hokkaido, Expanding Horizons.

真沼津川は平成7年8月及び平成13年9月の洪水により浸水被害が発生したため、再度災害防止の観点から、平成15年度より当該事業に着手しました。

近年では、平成28年8月の洪水により浸水被害が発生しており、依然として治水安全度が低い状況にあることから、暫定的な河道掘削による河川断面の拡大などを推進し、早期に市街地の浸水被害防止・軽減に努めます。

## 《事業概要》

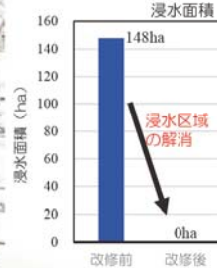
事業延長 : L=3.3km  
 事業期間 : 平成15年度～令和22年度(予定)  
 全体事業費 : 約101億円  
 事業内容 : 掘削工、護岸工、道路橋架替など

## 《位置図》



## 《事業効果》

計画規模の洪水が発生した場合、下記の事業効果が見込まれる。



## 《標準断面図(国道橋上流付近)》



《写真：山手北8条橋より上流を望む》  
(平成28年8月洪水)

《写真：駒場4号橋を下流より望む》  
(過年度完成区間)



# パンケヌシ川 大規模特定砂防事業

その先の、道へ。北海道



室蘭建設管理部

砂防事業

Hokkaido, Expanding Horizons.

平成28年8月30日から31日にかけて接近した台風10号の大雨により、土砂・流木が下流へ下流し、日高町千栄地区で多大な被害(床上浸水7戸、床上浸水2戸、住宅半壊1戸、浸水面積103ha、国道274号線通行止め)が発生しました。

流域内は土砂・流木堆積が甚だしく、今後の降雨により更なる土砂・流木が流出し、これらの保全対象に甚大な被害をもたらすおそれがあるため、平成30年度より砂防事業に着手しています。

事業の実施により土石流等の土砂被害から人家や国道274号線が保全されます。

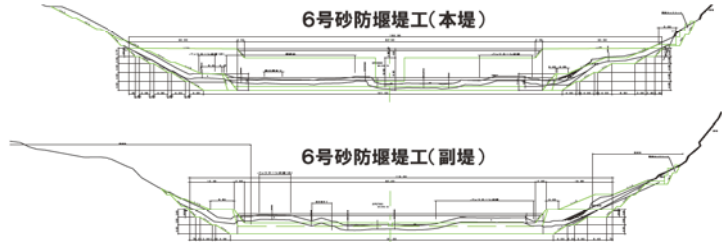
## 《事業概要》

事業箇所 : 砂防堰堤工1基、流木捕捉工1基  
 事業期間 : 平成30年度～令和6年度(予定)  
 全体事業費 : 約9.9億円  
 事業内容 : 砂防堰堤工、流木捕捉工

## 《位置図》



## 《正面図》



《写真：被災状況》



《写真：整備イメージ》





# 登別停車場線 駅前広場整備事業<都市計画道路 登別温泉通>

室蘭建設管理部  
街路事業

その先の、道へ。北海道

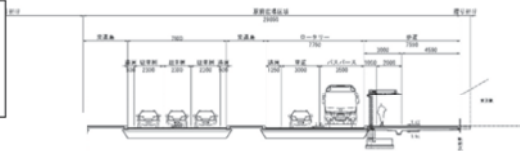
Hokkaido, Expanding Horizons.

当該路線は登別駅と観光客が年間約400万人の集客がある登別温泉へ向かうための重要な路線です。登別駅は登別温泉への玄関口であるとともに、白老町に開設された民族共生象徴空間への来客による利用客増加が見込まれていますが、未整備で狭小な駅前広場はバスやタクシーを待つ観光客で混雑しており、駅前広場として十分な機能を果たしていません。駅前広場を拡幅整備することで地域住民・観光客等誰もが使いやすい、安全・安心な歩行空間確保と交通結節点機能の強化を図るものです。

### 《事業概要》

事業面積 : A=3,500m<sup>2</sup>  
事業期間 : 令和4年度～令和8年度(予定)  
全体事業費 : 約5.6億円  
事業内容 : 駅前広場整備

### 《標準断面図》



### 見込まれる整備効果

駅前広場整備  
⇒ 交通結節点機能の強化を図るとともに新駅舎や観光交流センターと一体的な整備を行うことで駅周辺の賑わい向上などに寄与する。

### 《位置図》



### 《写真:現況》



# イタンキ地区(イタンキ漁港)水産生産基盤整備事業

室蘭建設管理部  
漁港事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido, Expanding Horizons.

イタンキ漁港は、スケトウダラやカレイ、タコ類の水産物を荷揚げしており、令和元年より屋根付き岸壁への改良や外防波堤の改良などの整備に着手しています。現在の荷揚げ環境を野天から屋根下に切り替えることによって、作業環境の改善や漁獲物の鮮度保持による価格安定化を図ります。また、外防波堤は不透透(波を通さない)構造に改良することで漁港内の静穏度を改善し、出漁機会の増大を図り、令和8年度中の完成を目指し整備を行います。

### 《事業概要》

事業期間 : 令和元年度～令和10年度(予定)  
全体事業費 : 約13億円  
事業内容 : 外防波堤(改良)  
-3.0m岸壁(天蓋施設)など

### 《屋根付き岸壁イメージ》



### 作業環境改善・漁獲物鮮度保持対策

